

2024年の漢字は「金」だそう... 2025年も職員一同、子どもたちと向き合って沢山の言葉を交わして精一杯保育をしていきます。

子どもたちには人を思いやる言葉や優しい言葉を使ってもらいたいというの、大人の共通の願いではないでしょうか... 園庭で、もち米を蒸し、本物の臼と杵でもちつきをしますよ!

今月の予定

おべんとうデー 1/15 (水)

いつもご協力本当にありがとうございます。朝から嬉しそうにお弁当を持って登園している子どもたちの笑顔は幸せそうです!

もちつき 1/16 (木)

園庭で、もち米を蒸し、本物の臼と杵でもちつきをしますよ! つきたてのモチは格別です。※モチは提供する大きさに注意し、子どもたちにもよく噛むように伝え、食事中は職員が見守ります。

牛久第二小学校見学 (年長児) 1/20 (月)

年長児が牛久第二小学校に行き、学校内の見学させていただきました。就学への期待が少しずつ高まっている子どもたちです。

交通安全教室 1/21 (火)

今回は「チャイルドシートに座ろう」というテーマです。子どもの命を守るために大切なことですね。

幼児教育アドバイザーの先生方による読み聞かせ 1/21 (火)

毎回、絵本や紙芝居など、子どもたちの興味に合わせて読んでくださっています。

ALT体験 (年長児) 1/22 (水)

年長児を対象にALTによる英語授業の体験をおこないます。どんなことをするのか今から楽しみです。

カレーライスの日 1/24 (金)

食はあらゆることの原動力になります。自分たちで作って食べること、その雰囲気を感じるのが食の楽しみに繋がりますね。

人形劇観劇 1/28 (火) 10:00~

保護者会費を活用させていただき、Imasan工房様の人形劇を観劇いたします。時間の合う保護者の方も是非。希望する方は担任までお知らせください。

誕生会 1/30 (木) 10:00~

1月生まれのお友だちの誕生会です! みんなで誕生日の子をお祝いする雰囲気がとっても良いですよ。職員の出し物も気合が入ります!

☆お知らせ・★お願い

★てくてくミュージアムのご観覧 ありがとうございます

てくてくミュージアムをご観覧いただきありがとうございました。子どもたちと職員で作上げた空間は手前味噌ではありますが、見応えもあり楽しんでいただけたのではとないかと思えます。保護者の皆様から沢山の感想も頂戴しました。感想の中には展示や製作過程の子どもの成長を喜ぶものももちろんのこと、職員のを労っていただくものも多く、保護者の皆様の暖かさに胸がいっぱいでした。この場を借りて御礼申し上げます。

★今後の予定について 2月カレーライスの日の日程変更 2月7日(金)に変更になります ランランフェスティバル 2月22日(土)

3月保育参観 3月3日、5日~7日の4日間 クラスごとの参観日程は2月に入ってからお知らせします。

たびだちの日 (卒園式・年長児親子のみ) 3月22日(土) ・土曜日保育はありません。

※各予定の時間等、詳しいことは今後手紙を配布いたします。

☆1月から栄養士として上東 秀与(かみひがし ひでよ)さんが勤務となります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

★テラス補修について

現在、テラスの一部が劣化により抜けております。屋根がない部分のテラスの支えに痛みが出ていることが原因のようです。修繕に向けて動いておりますので、引き続き近づかないようにご注意ください。

平和で貧困のない 世界を願って... イラクから来た途中入園のH君は、入園当初は、全く日本語が話せず、集団のルールも分からず、暴れ回っていた。ピアノの上に登ったり、机の上に乗ったり、危険な行動をした。友達を突然、後ろから突き飛ばしたり、プールの水の中に頭を押し込んだり、傍若無人の振る舞いだった。子ども達もHにやられたと訴えてきて、Hを恐れた。アウトローだった。そのうち、保護者からも苦情が来た。「少し待って下さい。すぐに集団に慣れ、落ち着いてきますから」と理解を求めた。担任の先生は、手を焼いていたが、暖かく見守っていた。私もいつも注意して見ていた。H君は、良く遊ぶ子で、利発で活発でした。そのうち集団での遊びにも積極的に加わり、いつもニコニコと友達との関わりを求めた。お母さんは、ほとんど日本語が話すことができなかったが、H君は2ヶ月もすると会話ができるようになり、友達や先生ともコミュニケーションをとれるようになった。友達との関係も良好になり、一層、仲良く遊べるようになった。遊びの中でも、友達に手を差し伸べ、助ける姿も見受けられた。子どもの成長、発達には本当にすごいと感じ、彼の成長がとっても嬉しかった。「家でも、乱暴な行動がなくなり、とても落ち着いて、Hは変わった。この園に出会えて良かった。Hはこの園が大好きです」とお父さんは言った。▼そのH君のお父さんから、11月中旬に、突然

退園したいとの申し出があった。事務から、園への未払金が滞っているとの報告があった。直前に、未払いのまま退園して行ってしまった人がいたので、どうしましようと言ってきた。事情を聞くと、お金がなく、生活が苦しいので、お母さんと子ども達だけ国に帰るとのことだった。そんな事情を聞いたら、お金は払ってもらわなくともいいので、請求しなくてもいいと伝えた。しかし、11月の末にお父さんがやって来て、残金を精算していった。翌日、帰国するまで、全ての料金はいらさないから、是非、園に来て遊ばせて下さいと伝えた。明日、帰国することだったので、H君とご家族が好きなようになってくれたふたばのマークが付いた長袖の園服をプレゼントすると、お父さんは、「イラクでふたばのマークのついた服を着せませす。私泣いちゃいます。嬉しいです。本当にありがとうございます。この園に來られて本当良かった。」と言っていて帰って行った。お金がないのに、生活が苦しいのに、きつとお金をかき集めて支払に来てくれたのだと思うと、未払金を受け取らなければよかったと後悔した。そして、あんなにこの園を好きになつてくれたH君、お父さん、ご家族を思うと、遠くの空をながめて、今どうしているのだろう、楽しく生活して幸せになって欲しいと祈らずにいられない。新年にあたり、世界中から戦争、貧困、格差、差別がない平和な世界になることを祈ります。

理事長 浅田 精利